みき通信

日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告

第62号2016年９月30日

発行 がんばれくぼたみきの会

連絡先 875-7126 （阿部）

危ない！ 強行安倍政権

７月の参院選から２ヶ月、安倍政権は選挙で争点から隠してきた問題を次々と具体化しています。

安保法制（戦争法）の強行成立から19日で丸1年。2013年末に内戦状態になって以来、ＰＫＯ（国連平和維持活動）参加５原則は成り立っていないといわれる南スーダンですが、稲田朋美防衛相は「５原則は満たしている」として派遣予定の自衛隊の安保法に基づく「駆けつけ警護」など、新たな任務の訓練が開始されました。

また、テロ対策を口実に「共謀罪」法案も秋の臨時国会提出を狙っています。これは犯罪が行われなくとも権力の都合でいくらでも処罰できるもので、これまで３度も廃案になっているものです。憲法改定でも、投票日翌日には「自民党改憲案をベースに」と自らの野望がむき出しです。

中でもひどいのは沖縄です。「県民に寄り添う」などときれいごとを並べながら、11日早朝、東村高江で住民たちを力づくで排除して、米軍のヘリパッド建設工事を強行しました。

選挙中、社会保障に力を入れるかのように言っていた暮らしの問題では75歳以上の医療費窓口負担を２割に引き上げ、介護保険では「要支援１，２」に続いて「要介護１・２」の保険はずしなどの改悪が示されています。

神奈川新聞は９月５日の社説で「共謀罪」法案について「民主主義は守られるか」と「・・戦前の治安維持法により言論や思想が弾圧された痛切な反省が背景にある。歴史上の教訓も踏まえ、テロ防止の大儀名分の下で民主主義や人権が脅かされないかを問う議論を望む」と結んでいます。

民意を無視する強行政治を許してはなりません。言葉の裏にある真意をしっかりくみ取り、この政権をとらえていきましょう！。

平成２７年度 葉山町のお金の使いみちは？

町議会議員 くぼた みき

平成27年度の葉山町の一般会計決算総額は歳入101億4千万円、うち町税は55%、約9割が町民税・固定資産税で56億4千万円、歳出94億５千万円でした。葉山町に大企業はありません。町民の方からお預かりする税金が主な収入源となっています。一人あたり168.583円となりました。

葉山町の財政 決算版に「借金は減らす事が出来ました。貯金（基金）の積立は増えました」とありますが、限られた財源の中、町民への還元（サービス）へのお金の使い方が気になります。

町の政策重点は「健康」で、身体だけでなく、心や社会の健康にも取り組むとしています。「健康」への働きかけは、数回行えば良いものでも、すぐに効果が表れるものでもありません。しかし町の取り組みには「ＰＲ不足、対象人数に限りがありもっと大きな企画、継続的な企画に出来ないのか」と考えます。自転車による健康増進、町民と近隣住民の交流等を目的とした「南郷ヒルクライムレース」の参加者141人中町民は24人。町歌に振りつけした「葉山体操」の普及や体力測定の実施は、その後の健康維持に結び付けることが出来ているか。胃がんリスク検診補助を始めたが受診者が少ないなど気になります。町民体育館等の運動施設を持たない葉山町です。ソフト面で様々取り組んだ施策が町民の健康維持、健康増進へ繋げていくためには更なる取り組み方が重要です。

「葉山町は税金が高い」という声を聞きますが、固定資産税は地域で違いがあるものの、住民税は同じです。住民サービスが他と比べて少ないと感じることが「税金が高い」と感じてしまうのではないでしょうか。納めた税金に見合った町民へのサービスの充実を求めていきます。